

静かに歴史を刻んできた証が、ここに…

憲吉が今なおそこに座っているような

この文芸館は、布野で誕生した歌人中村憲吉の偉業を後世に伝えるとともに、広く文芸活動をしていただくための施設です。中村家から寄贈された生家内の展示室には、親戚・知人等からお寄せいただいた遺墨・遺品や書籍などを展示しています。また、憲吉が歌友の斎藤茂吉や土屋文明、平福百穂などを招いた客殿は当時のままのたたずまいで、短歌会などの文芸を楽しむことができます。

文芸館建家の古き趣を感じながら、憲吉が詠んだふる里の情景に浸り、明治、大正、昭和期に思いを馳せつつ夢あるひと時をお過ごしください。

展示してある書籍

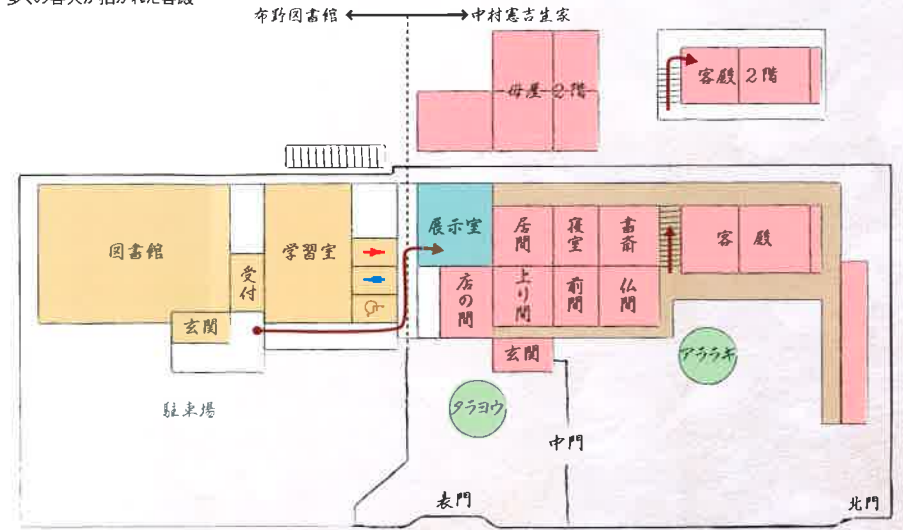


「憲吉とその仲間たち」のコーナーを備えた布野図書館



遺墨や遺品が並ぶ展示室

多くの客人が招かれた客殿



生家内に現存する大時計

氣のつけば柱のうへの大時計
二時をうちたり宜べや久しき 憲吉

大正五年の秋に東京を引き上げて帰郷した憲吉は、山深い寒村での生活と作歌の両立に悩んでいた。そのような環境下にあつて心境の著しい変化から、大正六年に新たな趣の「雨蛙」と題して詠んだ八首の内一首である。



玄関先にある斎藤茂吉・土屋文明が来訪時に詠んだ歌碑



堂々とした佇まいの多麗葉樹(タラヨウ)

中村憲吉

略年譜



- 明治22(1889)年 1月25日広島県三次郡上布野村で生まれる
- 27(1894)年 布野尋常小学校入学
- 33(1900)年 三次尋常高等小学校高等科へ転校
- 34(1901)年 広島県立三次中学校入学
- 39(1906)年 第七高等学校造士館(鹿児島)入学
- 41(1908)年 伊藤左千夫選歌の日本新聞に自作の数首が載る
- 43(1910)年 東京帝国大学法科大学経済科入学
- 大正2(1913)年 島木赤彦との合著「馬鈴薯の花」刊行
- 4(1915)年 倉田岩太郎長女シヅ子と結婚
- 5(1916)年 帰郷し家業につく、第二歌集「林泉集」刊行
- 10(1921)年 大阪毎日新聞社経済部記者になる
- 13(1924)年 第三歌集「しがらみ」刊行
- 14(1925)年 自選歌集「松の芽」刊行
- 15(1926)年 大阪毎日新聞に随筆「三次の鶴飼」発表
- 昭和5(1930)年 現代短歌全集「中村憲吉集・土屋文明集」刊行
同年母屋に隣接する「客殿」増築
- 6(1931)年 第四歌集「軽蕾集」刊行
- 7(1932)年 広島郊外の五日市で病氣療養
- 9(1934)年 5月5日療養先の尾道千光寺飯寓で死去 46歳
10月遺歌集「軽蕾集以後」刊行される

利用のご案内

- 開館時間** 10:00 ~ 18:00(入館受付は17:00まで)
- 入館料** 無料
- 休館日** 毎週月曜日及び12月29日~翌年1月3日
- 案内人** 常駐していません。案内を必要とされる方は下記まで事前にご連絡願います。案内・資料代等は、運営協力費として別途申し受けます。



- 広島～布野
バス…約2時間
自家用車…約1時間30分
(三次ICより30分)
- 松江～布野
バス…約2時間30分
自家用車…約2時間

お問い合わせ先

見学・ガイドの予約
(月～金曜日の平日 8:30 ~ 17:00)
布野町まちづくり連合会
〒728-0201 広島県三次市布野町上布野1196-1
(布野生涯学習センター) TEL.0824-54-2119

三次市立布野図書館

〒728-0201 広島県三次市布野町上布野1475-3
TEL.0824-54-2288

中村憲吉記念文芸館

